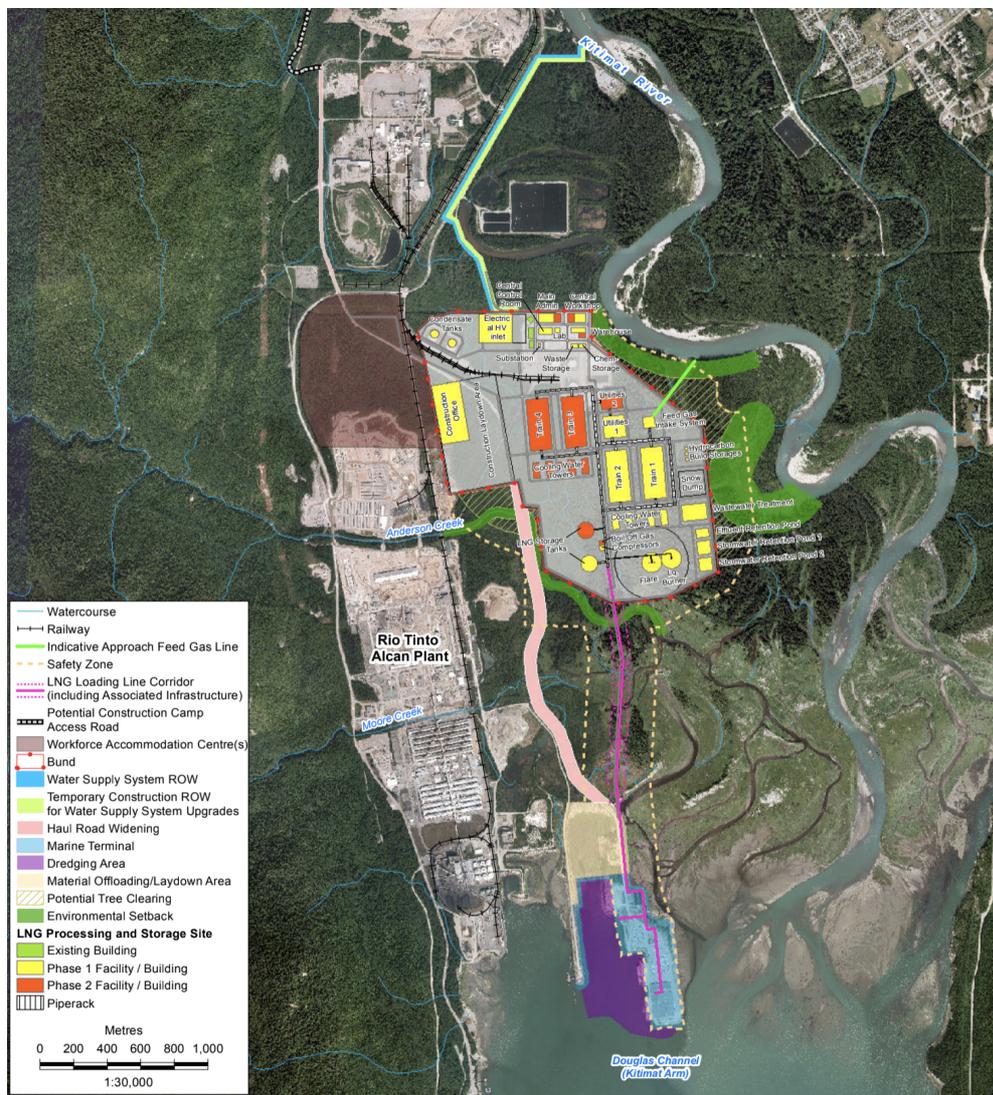


LNGカナダプロジェクト

LNGカナダプロジェクトは、ブリティッシュ・コロンビア州（以下、BC州）モントニーで採掘されたシェールガスを経由して670キロメートルに及ぶパイプラインでキティマットまで運んで液化し、主にアジア市場に向け輸出する事業。カナダはこれまで主に米国向けにガスを輸出してきた。LNGカナダがカナダにとって初めての大型LNG（液化天然ガス）輸出基地となる。

LNGカナダプロジェクトには日本を含む各国の企業が参画しており、各出資者が原料ガスを独自に調達した上で、パイプラインを通じLNG液化設備へ輸送する。LNGは持分比率に応じて引き取る。なおLNGカナダプロジェクトはキティマットにおける液化ターミナルの開発事業をさす。



(LNGカナダプロジェクト EIA 2-11)

【事業概要】



(コースタル・ガスリンク・パイプライン¹⁾)

	LNGカナダプロジェクト	コースタル・ガスリンク・パイプライン事業 (CGL事業)	モントニー・シェールガス開発事業 (カットバンク・リッジ)
目的	年間1,400万トン (700万トン×2系列) の生産能力を持つ天然ガス液化設備の建設。事業には液化プラント・貯蔵施設・輸出用ターミナル建設等 ² が含まれる。	ドーソックリーク (モントニー) とキティマットを結ぶパイプライン建設 (LNGカナダプロジェクト専用)	50年にわたり日量約30億立方フィート (約2,250万トン/年) のシェールガス生産を行うことを目指す ³ 。
サイト位置	BC州キティマット港周辺 (バンクーバー北西650km) の約430ha	BC州ドーソックリークからキティマットの間670km	BC州北東部モントニー地域カットバンク・リッジ
総事業費	400億カナダドル	66億カナダドル (2018年時点)	-
事業実施者	LNGカナダディベロプメント社= Shell Canada Energy (40%)、Petronas Can	Coastal Gaslink Pipeline Limited (CGL社) (TC Energy Corporation (旧Tran	Cutbank Ridge Partners hip (CRP) =Ovintiv Inc. (旧Encana) (60%)、C

¹ Coastal Gaslink Pipeline “Construction Update” <https://www.coastalgaslink.com/siteassets/pdfs/construction/updates/coastal-gaslink-march21-construction-update.pdf> 3月18日

² JBICの融資対象には、上流ガス田開発サイトからCGLに繋がるパイプラインも含む

³ 三菱商事”カナダ ブリティッシュ・コロンビア州におけるエンカナ社の天然ガス開発プロジェクトへの参画” <https://www.mitsubishicorp.com/jp/ja/pr/archive/2012/html/0000014164.html> 2012年2月20日

	<p>ada (25%)、PetroChina Canada Ltd. (15%)、Kogas Canada LNG Ltd (韓国ガス公社の子会社) (5%)、Diamond LNG Canada Ltd. (三菱商事の子会社、東邦ガスが3.3%出資⁴) (15%)⁵ EPC:日揮とフルア (米) による合弁会社</p>	<p>sCanada Corporation) の子会社) KKR (TC Energyから65%分取得、韓国国民年金公団を通じ出資)⁶</p>	<p>utbank Dawson Gas Resources Ltd. (CDGR、SGIC社の100%子会社) (40%) SGIC社：三菱商事と石油天然ガス・金属鉱物資源機構 (JOGMEC) が出資⁷。</p>
<p>融資 機関</p>	<p>・国際協力銀行 (JBIC) が融資⁸ ・日本の民間銀行一行がJBICと協調融資⁹</p>	<p>日本：みずほ銀行、三菱UFJ銀行、三井住友銀行、三井住友信託銀行 オーストラリア：ナショナル・オーストラリア銀行 (NAB) カナダ：モントリオール銀行、CIBC、カナダロイヤル銀行 (RBC)、ノヴァ・スコシア銀行 (Scotiabank)、トロント・ドミニオン銀行 (TD) 中国：中国銀行、中国建設銀行、中国工商銀行 (ICBC) 米：バンク・オブ・アメリカ、シティバンク、JPモルガン・チェース銀行、トゥ</p>	<p>Encanaからの権益取得にJBICが融資¹¹</p>

⁴ 三菱商事 2021年度決算公表資料 <https://www.mitsubishicorp.com/jp/ja/ir/library/earnings/pdf/202205j.pdf>

⁵ Global Energy Monitor “LNG Canada Terminal” https://www.gem.wiki/LNG_Canada_Terminal 2021年4月13日閲覧

⁶ “KKR to Acquire Significant Stake in Canada’s Coastal GasLink Pipeline Project” <https://www.businesswire.com/news/home/20191226005038/en/KKR-to-Acquire-Significant-Stake-in-Canada%E2%80%99s-Coastal-GasLink-Pipeline-Project> 2019年12月26日

⁷ JOGMEC “三菱商事のカナダ・ブリティッシュ・コロンビア州モントニー地域におけるシェールガス開発事業への資産買収出資について” http://www.jogmec.go.jp/news/release/news_10_000078.html 2014年1月29日

⁸ JBIC “カナダにおけるLNGカナダプロジェクトに対する開発資金を融資” <https://www.jbic.go.jp/ja/information/press/press-2021/1029-015352.html> 2021年10月29日

⁹ 同上

¹¹ JBIC “カナダシェールガス権益取得・開発に対する資源金融供与” <https://www.jbic.go.jp/ja/information/press/press-2012/0813-6129.html> 2012年8月13日

		ルイスト ¹⁰	
保証 機関			JOGMECが債務保証 ¹²
運転 開始	2025（2024年度）に生産開始。40年間の運転を予定。	2023年に運転開始予定 ¹³ 。	2017年時点で7億5,000万立方フィートの天然ガスと、2万1,000B/Dの液体燃料を生産 ¹⁴ 。
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・ JERAが2024年度から15年間の購入に基本合意（最大約120万トン/年）¹⁵。 ・ 東京ガスが2026年度から13年間のLNG購入に基本合意（最大約60万トン/年）¹⁶ ・ 東邦ガスが2024年度から15年間のLNG購入に基本合意（30万トン/年）¹⁷ ・ カナダ政府が2億7500万ドルの補助金拠出を決定¹⁸。 		

¹⁰ Rainforest Action Network, “CASE STUDY COMPILATION: OIL AND GAS PROJECTS” https://www.ran.org/the-understory/case-study-compilation-oil-and-gas-projects/#Coastal_GasLink_Pipeline 2021年3月23日

¹² JOGMEC “

三菱商事のカナダモントニー地域におけるシェールガス開発事業への債務保証について

”<http://www.jogmec.go.jp/news/release/release0423.html> 2012年8月13日

¹³ NS ENERGY “Coastal Gaslink Pipeline Project” <https://www.nsenergybusiness.com/projects/coastal-gaslink-pipeline-project-british-columbia/#:~:text=The%20Coastal%20GasLink%20pipeline%20is,Image%20courtesy%20of%20TransCanada%20Corporation.> 2022年2月4日閲覧

¹⁴ JETRO “オイルサンドの資産や権益、カナダ企業への売却進むーアルバータ・BC両州にみる石油・天然ガスの開発動向ー” <https://www.jetro.go.jp/biznews/2017/08/59b0d9c7fc9f46ec.html> 2017年8月7日

¹⁵ JERA “LNGカナダプロジェクトからのLNG売買に関する基本合意について”https://www.jera.co.jp/information/20190409_338 2019年4月9日

¹⁶ 東京ガス “LNGカナダプロジェクトからの液化天然ガス売買に関する基本合意書の締結について”<https://www.tokyo-gas.co.jp/Press/20181010-01.html> 2018年10月10日

¹⁷ 東邦ガス “LNGカナダプロジェクトからのLNG購入に関するダイヤモンド・ガス・インターナショナル社との基本合意書の締結について” https://www.tohogas.co.jp/corporate-n/press/1208773_1342.html 2018年10月10日

¹⁸ Government of Canada “Funding for LNG Canada supports up to \$40 billion investment that will lead to 10,000 middle-class jobs” <https://www.canada.ca/en/innovation-science-economic-development>

*ブリティッシュ・コロンビア州のLNG開発について

BC州では、主にアジア市場向けの輸出用LNGターミナルの計画が進められている。これまでに18の計画が持ち上がったが、実際に進んでいたのはLNGカナダ、Woodfibre LNG、そしてPacific Northwest LNGの3つの計画のみ。Pacific Northwest LNGは、マレーシアのPetronas、日本の石油資源開発株式会社（JAPEX）が関与していた¹⁹事業であるが、2017年、ガス価格の下落等を理由に事実上中止された²⁰。

【主な経緯】

2007年	先住民族Wet'suwet'enが全てのパイプライン事業に反対し、抗議活動を始める ²¹ 。
2012年	LNGカナダディベロプメント社とCGL社との間でパイプライン建設の運営に関し、契約が締結される。
2014年10月23日	CGL事業への環境許認可が発行される ²² 。
2015年6月17日	LNGカナダプロジェクトへの環境許認可が発行される ²³ 。
2018年10月1日	LNGカナダプロジェクトの最終投資判断が下される ²⁴ 。
2018年10月2日	CGL事業の最終投資判断が下される ²⁵ 。

[t/news/2019/06/government-of-canada-confirms-support-for-largest-private-investment-in-canadian-history.html](https://www.governmentofcanada.ca/news/2019/06/government-of-canada-confirms-support-for-largest-private-investment-in-canadian-history.html) 2019年6月24日

¹⁹ JOGMEC “石油資源開発（株）のカナダブリティッシュ・コロンビア州ノースモントニー地域におけるシェールガス開発・生産事業への債務保証について” http://www.jogmec.go.jp/news/release/news_10_000198.html 2015年3月30日

²⁰ Hydrocarbons Technology “Pacific NorthWest LNG Project, British Columbia” <https://www.hydrocarbons-technology.com/projects/pacific-northwest-lng-project/> 2021年4月13日閲覧

²¹ Unist'ot'en “Timeline of the Campaign: A Timeline” <https://unistoten.camp/timeline/timeline-of-the-campaign/> 2021年4月15日閲覧

²² Ministry of Environment, Environmental Assessment Office “EAC - E14-03 - Coastal Gaslink Pipeline - Environmental Assessment Certificate” <https://projects.eao.gov.bc.ca/api/public/document/58868fd3e036fb010576876e/download/Environmental%20Assessment%20Certificate%20%23E14-03%20for%20the%20CGL%20Project%20dated%20October%202023%2C%202014..pdf> 2014年10月23日

²³ Ministry of Environment, Environmental Assessment Office “LNG Canada Export Terminal granted environmental assessment approval” <https://projects.eao.gov.bc.ca/api/document/58869077e036fb0105768b5d/fetch> 2015年6月17日

²⁴ LNG Canada “LNG Canada Announces a Positive Final Investment Decision” <https://www.lngcanada.ca/news/lng-canada-announces-a-positive-final-investment-decision/> 2018年10月1日

²⁵ Coastal Gaslink Pipeline “Coastal Gaslink Connector” <https://www.coastalgaslink.com/siteassets/pdfs/about/resources/cgl-connector---december-2018.pdf> 2018年12月

	LNGカナダプロジェクトのEPC契約が発効する ²⁶ 。
2018年11月23日	CGL社が、抗議活動により会社に財政上の損害が発生したとして先住民族のメンバー個人を訴える。
2018年12月14日	BC州最高裁判所がCGL社の訴えを認める。事業の続行を認め、先住民族の抗議行為に対する差止め中間判決を下す ²⁷ 。
2019年1月7日	CGL事業における差止め中間判決を理由に、武装したカナダの連邦警察RCMP（王立カナダ騎馬警察）がWet'suwet'enの土地に暴力的に立ち入り、14名を逮捕する ²⁸ 。
2019年10月15日	CGL事業への環境許認可の5年延長が認められる ²⁹ 。
2019年12月13日	国連人種差別撤廃委員会は連邦政府に対し「自由意思による、事前の、十分な情報に基づく同意（free, prior and informed consent：FPIC）」が得られるまで、CGL事業、トランス・マウンテン・パイプライン事業、サイトCダムの建設を即時中止するよう求める決議を発表 ³⁰ 。
2019年12月31日	BC州最高裁判所が先住民族側の訴えを認めず、CGL事業における差止め判決を下す ³¹ 。
2020年1月4日	Wet'suwet'enの世襲制酋長がCGL社に対し立退通告を発出 ³² 。

²⁶ 日揮株式会社“カナダの大型LNGプラント建設プロジェクトが正式契約発効” <https://www.jgc.com/jp/news/2018/20181002.html> 2018年10月2日

²⁷ David Gray-Donald “Unpacking the Coastal GasLink injunction and its omissions” <https://briarpatchmagazine.com/articles/view/unpacking-the-coastal-gaslink-injunction-and-its-omissions> Briarpatch Magazine, 2020年2月23日

²⁸ CBC News “14 arrested as RCMP break gate at Gidimt'en camp checkpoint set up to stop pipeline company access” <https://www.cbc.ca/news/indigenous/rcmp-injunction-gidimten-checkpoint-bc-1.4968391> 2019年1月7日

²⁹ Ministry of Environment, Environmental Assessment Office “Letter to CGL regarding Certificate Extension to the EAC #E14-03” <https://www.projects.eao.gov.bc.ca/p/588511c4aaecd9001b825604/project-details?currentPageActivities=2> 2019年10月16日

³⁰ Committee on the Elimination of Racial Discrimination “PREVENTION OF RACIAL DISCRIMINATION, INCLUDING EARLY WARNING AND URGENT ACTION PROCEDURE” https://tbinternet.ohchr.org/Treaties/CERD/Shared%20Documents/CAN/INT_CERD_EWU_CAN_9026_E.pdf?_ga=2.171294304.1158930249.1618324061-1016472279.1618324061 2019年12月13日

³¹ David Gray-Donald “Unpacking the Coastal GasLink injunction and its omissions” <https://briarpatchmagazine.com/articles/view/unpacking-the-coastal-gaslink-injunction-and-its-omissions> Briarpatch Magazine, 2020年2月23日

³² Gidimt'en Checkpoint “Wet'suwet'en Hereditary Chiefs Evict Coastal Gaslink From Territory” <https://static1.squarespace.com/static/5c51ebf73e2d0957ca117eb5/t/61664d2c4dc5af076ee7ae72/1634094380271/PR+Jan+4+2020.pdf> 2020年1月4日

2020年2月3日	Wet'suwet'enがカナダ最高裁判所にCGL事業における環境許認可延長の司法審査を請求する ³³ 。
2020年2月6日	武装したRCMPが、CGL事業への抗議活動を続けるWet'suwet'enの活動家を強制退去させようとし28人を逮捕する。また、先住民族に対する警察の暴力的な介入に対し、カナダ全土で先住民族に対して連帯を示すデモが起きる ³⁴ 。
2020年2月29日	連邦政府・BC州・Wet'suwet'enの間で、連邦政府とBC州はWet'suwet'enの土地に対する権利を認めるとする覚書が合意される ³⁵ 。
2020年5月14日	覚書が正式に署名される。
2020年10月1日	Wet'suwet'enが提出したCGL事業における環境許認可延長の司法審査請求がカナダ最高裁判所で審問される ³⁶ 。
2020年11月24日	国連人種差別撤廃委員会が連邦政府に対し第21-23号統合定期報告書にて現状を報告するよう要請。
2021年2月5日	JBICがLNGカナダプロジェクトへの融資検討開始。
2021年9月22日	CGL社とRCMPがWet'suwet'enの遺跡を破壊し土地造成を開始。抗議の声が上がる ³⁷ 。
2021年9月25日	モーリス川（現地語：Wedzin Kwa）下でのパイプライン工事を阻止しようとWet'suwet'enとその支援者が抗議活動を始め ³⁸ 。
2021年10月19日	Wet'suwet'enが事業に投融資する37企業にCGL事業から撤退す

³³ Wet'suwet'en “Wet'suwet'en Hereditary Chiefs Launch Court Challenge to Coastal GasLink Pipeline's Environmental Approval” https://www.wetsuweten.com/files/Media_Release_Feb._6,_2020_-_CGL.pdf 2020年2月6日

³⁴ APTN NEWS “RCMP move in on Wet'suwet'en territory in early morning raid” <https://www.aptnnews.ca/national-news/rcmp-move-in-on-wetsuweten-territory-in-early-morning-raid/> 2020年2月6日

³⁵ Government of Canada “Memorandum of Understanding Between Canada, British Columbia and Wet'suwet'en as agreed on February 29, 2020” <https://www.rcaanc-cirnac.gc.ca/eng/1589478905863/1589478945624> 2021年4月13日閲覧

³⁶ Wet'suwet'en “Wet'suwet'en Legal Challenge to Coastal GasLink to be heard in the BC Supreme Court” http://www.wetsuweten.com/files/BC_EAO_Judicial_Review_OW_Media_release_Oct_1_2020_FINAL_.pdf 2020年10月1日

³⁷ Gidimt'en Checkpoint “COASTAL GASLINK DESTROYS ARCHEOLOGICAL SITE ON CAS YIKH TERRITORY” <https://static1.squarespace.com/static/5c51ebf73e2d0957ca117eb5/t/616628822d1f573593ceee42/1634084994589/PR+Sep+23+2021.pdf> 2021年9月23日

³⁸ Gidimt'en Checkpoint “Wet'suwet'en blockades erected to stop coastal gaslink drilling under sacred headwaters” <https://www.ienearth.org/wetsuweten-blockades-erected-to-stop-coastal-gaslink-drilling-under-sacred-headwaters/> Indigenous Environmental Network 2021年9月27日

	るよう要請書を送付する ³⁹ 。
2021年10月29日	JBICがLNGカナダプロジェクトへの融資を決定 ⁴⁰ 。
2021年11月9日	現地環境当局（EAO）がCGLに対し講じるべき環境保全対策がなされていないなど、不遵守を指摘。これまでも複数の不遵守が指摘されている ⁴¹ 。
2021年11月14日	Wet'suwet'enの世襲制酋長がCGL社に対し2020年1月につづき退去通告を再発出。8時間の執行猶予を与えるも、CGL社は現地従業員に伝えず立ち退きを拒否する ⁴² 。結果、一時的にCGL社従業員がWet'suwet'enの領土に取り残される。
2021年11月18日-20日	武装したRCMPが2つのキャンプ（再占拠地） ⁴³ で計32名を逮捕する ⁴⁴ 。
2021年12月19日	2020年1月の退去通告に基づき、CGL社従業員をWet'suwet'en領土から立ち退かせる ⁴⁵ 。
2022年2月7日	Wet'suwet'enの世襲制酋長や支持者が国連人権理事会の先住民の権利に関する専門家機構に対し、「Wet'suwet'enの土地の軍事化とカナダによる継続的な権利侵害」に関する書簡を提出する ⁴⁶ 。

³⁹ Gidimt'en Checkpoint “Indigenous-led campaign, endorsed by 100+ groups, urges global investors and banks to divest from and stop financing Coastal GasLink and LNG Canada; Financing violates racial justice commitments and reconciliation; Campaign builds on TMX campaign that saw 16 insurers drop the project” <https://static1.squarespace.com/static/5c51ebf73e2d0957ca117eb5/t/616e48f02d0094632c4c290a/1634617585249/211005-+Divest+from+Coastal+GasLink+Press+Release+-+Canada.pdf> 2021年10月19日

⁴⁰ JBIC “カナダにおけるLNGカナダプロジェクトに対する開発資金を融資”<https://www.jbic.go.jp/ja/information/press/press-2021/1029-015352.html> 2021年10月29日

⁴¹ B.C. Environmental Assessment Office “Coastal Gaslink Pipeline Environmental Assessment Decision” <https://www.projects.eao.gov.bc.ca/p/588511c4aaecd9001b825604/documents?currentPage=1>

⁴² Gidimt'en Checkpoint “Gidimt'en Evict Coastal GasLink from Wet'suwet'en Territory” <https://static1.squarespace.com/static/5c51ebf73e2d0957ca117eb5/t/619168973821566fa355db65/1636919447456/PressReleaseDay50.pdf> 2021年11月14日

⁴³ Wet'suwet'en領地での開発を止めようと自らの領地を再占拠するために建てた建物などを指す。

⁴⁴ Gidimt'en Checkpoint “Militarized RCMP Enforcement, Violent Arrests Continue on Gidimt'en Land Defenders” <https://static1.squarespace.com/static/5c51ebf73e2d0957ca117eb5/t/61998d7941cd455c8f2bdec5/1637453178121/Gidimt%27en-Release-Nov-20.pdf> 2021年11月20日

⁴⁵ Gidimt'en Checkpoint “Wet'suwet'en Evict Coastal Gaslink From Drill Site; Re-Establish Coyote Camp” <https://www.yintahaccess.com/s/Dec202021PR.docx> 2021年12月21日

⁴⁶ Gidimt'en Checkpoint “GIDIMT'EN LAND DEFENDERS MAKE SUBMISSION TO UNITED NATIONS ABOUT ONGOING RIGHTS VIOLATIONS BY BC AND CANADA; URGE U.N. TO VISIT WET'SUWET'EN TERRITORIES” <https://www.yintahaccess.com/news/2022/2/6/gidimten-land-defenders-make-submission-to-united-nations> 2022年2月7日

2022年2月16日	パイプラインを建設するGCL社が環境対策不備などの法令不遵守で罰金 ⁴⁷
2022年4月29日	国連の人種差別撤廃委員会がカナダ政府に対し2019年に引き続き、先住民族に対する警察権力を使った抑圧に対し懸念を示すレターを发出 ⁴⁸ 。
2022年5月9日	パイプラインを建設するGCL社が法令不遵守で2度目の罰金 ⁴⁹

【主な問題点】

●化石燃料ガスと気候変動

気候変動に関する国際条約であるパリ協定は、地球の平均気温の上昇を1.5℃までに抑える努力目標を掲げており、これを達成するためには2050年までに世界の温室効果ガスの排出を実質ゼロにする必要がある。つまり新たなガス田の開発や採掘、ガス関連施設を建設することは、新たな温室効果ガスの排出を長期にわたり固定（「ロックイン」）することに繋がり、パリ協定の目標とも合致しない。LNGカナダプロジェクトは2024年度中から40年稼働が計画されており、計画通り進めば2050年を超えて運転することになる。

ガスは石炭に比べて温室効果ガスの排出が少ないことから、再生可能エネルギーが普及するまでの「つなぎ」（transition fuel）とされてきた。しかし、ガス開発による温室効果ガスの排出は過小評価されているとの指摘もある⁵⁰。ガス燃焼時だけでなく、開発の段階からメタンが井戸等から漏れる（メタンリーク）ことで温室効果ガスが大気中に放出される。

図は、パリ協定の1.5℃目標および2℃目標に基づいたカーボンバジェットと化石燃料セクター等からの排出をグラフにしたものである。これによると、1.5℃目標を達成するためには既存及び開発中の石炭・ガス関連事業のすべてをフェーズアウトしていく必要がある。

⁴⁷ “Re: Determination of Administrative Penalty”
<https://www.projects.eao.gov.bc.ca/api/public/document/6216d7e298c6250022893ffb/download/386079%20-%20WYMAN%20-%20FINAL.pdf>

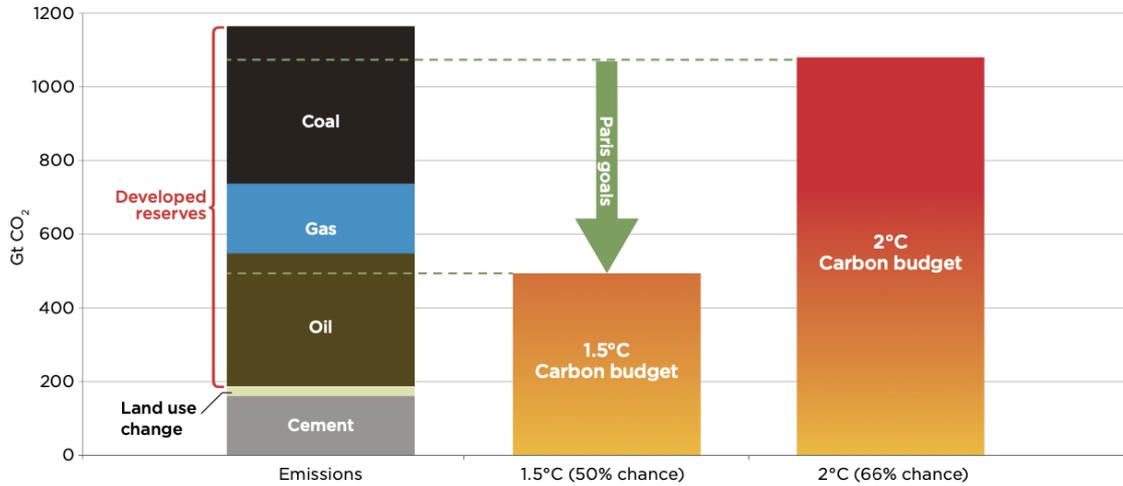
⁴⁸ 国連人種差別撤廃委員会 2022年4月29日https://tbinternet.ohchr.org/Treaties/CERD/Shared%20Documents/CAN/INT_CERD_ALE_CAN_9554_E.pdf

⁴⁹ BC州 “Fine issued for Coastal GasLink project” <https://news.gov.bc.ca/releases/2022ENV0026-000731> 2022年5月9日

⁵⁰ なお現状のIPCC上の計算ではメタンの温室効果は単位あたりCO2の25倍で計算することになっているが、36倍の温室効果があるとする研究もある。JCCCA “地球温暖化係数（GWP）について” <https://www.jccca.org/faq/15950>、Oil Change International “BURNING THE GAS ‘BRIDGE FUEL’ MYTH: WHY GAS IS NOT CLEAN, CHEAP, OR NECESSARY”

http://priceofoil.org/content/uploads/2019/05/gasBridgeMyth_web-FINAL.pdf, 2019年5月など。

Figure 4: CO₂ emissions from developed global fossil fuel reserves, compared to carbon budgets within range of the Paris goals



●シェールガス開発による環境・気候への影響

天然ガスの多くは地下にある砂岩に貯留しているが、シェールガス (shale gas) は地下深く (数百から数千メートル) の頁岩 (けつがん) 層に含まれ、「非在来型天然ガス」と呼ばれる。近年、採掘技術が進歩し生産コストが下がり、「シェールガス革命」と呼ばれ注目された。

シェールガスは、その採掘のために頁岩層まで掘削を行い、岩に割れ目 (フラック) を作り高圧で水を注入し破碎する必要がある。その工法は水圧破碎法 (フラッキング) と呼ばれ、高い環境負荷が生じる。指摘されているリスクや影響として、地震誘発リスク、フラッキングのために注入する水による水質汚染、大気汚染リスク、メタン排出による地球温暖化などがあげられる⁵¹。2011年にフランスで水圧破碎法 (フラッキング) が禁止され、2012年にはブルガリアも禁止した。その後ドイツやアイルランドでも禁止され、欧州の他地域でもモラトリウムが設けられた。欧州以外でもオーストラリア・ビクトリア州、アルゼンチンやコスタリカなどでフラッキング禁止やモラトリウムが導入されている⁵²。

モントニーでもフラッキングによる採掘が行われており、過去にフラッキングが誘発したと見られる地震を理由にモントニーの一部で操業の一時的停止措置がとられた⁵³。

●先住民族の合意の欠如と土地の権利

⁵¹ 「石油・天然ガス開発の仕組み 技術・鉱区契約・価格とビジネスモデル 改訂版」化学工業日報社

⁵² GNHRE “The legal status of fracking worldwide: An environmental law and human rights perspective.” <https://gnhre.org/2020/01/06/the-legal-status-of-fracking-worldwide-an-environmental-law-and-human-rights-perspective/> 2020年1月6日

⁵³ Natural Gas Intelligence “Montney Fracking Suspended at Least 30 Days Pending Earthquake Investigation” <https://www.naturalgasintel.com/montney-fracking-suspended-at-least-30-days-pending-earthquake-investigation/> 2018年12月7日, NGI “Further Research Exposes Montney Shale Earthquake Risks” <https://www.naturalgasintel.com/further-research-exposes-montney-shale-earthquake-risks/> 2019年9月26日

コースタル・ガスリンク・パイプライン事業は、先住民族Wet'suwet'enの土地を通過する計画になっているが、Wet'suwet'enの伝統的酋長らは合意しておらず、同パイプライン事業は「自由意思による、事前の、十分な情報に基づく同意（FPIC）」を得られていない。

カナダの先住民族については、連邦政府によってつくられたインディアン法（Indian Act）の下で投票により選出された選挙制酋長（Elected band council）と、植民地時代以前から存在する伝統的なシステムに基づく世襲制酋長（hereditary chiefs）が存在する形となっている。

植民地時代からこれまで、Wet'suwet'enは一度も土地の権利を手放したことはなく、「Unceded Land（譲渡契約が未承認の土地）」であると主張している。実際、土地の権利に関しては1997年に、カナダ最高裁判所が土地の所有権及び利用権は先住民族に属すると判決を下している例があり、これにはWet'suwet'enの土地も含まれる（Delgamuukwケース）⁵⁴。

CGL社が2018年に起こした裁判の中間判決では、BC州の最高裁は先住民族等の抗議行為により企業側に損失が生じると認めCGL事業の続行を認めた。しかし前述のように、過去の判例ではWet'suwet'enがこれまで一度も土地の権利を手放しておらず、土地に係る権利は伝統的にWet'suwet'enにあることが認められている。CGL社との裁判では、CGL社が事業に対し選挙制酋長らの合意を得ただけが記されており、Wet'suwet'enに土地に係る権利があることが十分に議論されなかった⁵⁵。その後も、州政府、連邦政府、Wet'suwet'enの伝統的酋長の間で、先住民族の土地に係る権利が再確認されているにもかかわらず⁵⁶、先住民族の反対の声を無視して事業が進められている。

<先住民族の権利に関する国連機関での動き>

カナダ連邦政府は「先住民族の権利に関する国際連合宣言（United Nations Declaration on the Rights of Indigenous Peoples, UNDRIP）」を2016年に採択しており、BC州も同宣言を実施する決議を行っている⁵⁷。2019年4月24日、Wet'suwet'enのUnist'ot'enハウスグループのスポークスパーソンであるフレダ・ヒューソン氏は、ニューヨークで開かれた国連の先住民族問題に関する常設フォーラム（Permanent Forum on Indigenous Issues）に出席し、一連の事業により自分たちの権利が脅かされている現状を報告した⁵⁸。その後、国連人種差別撤廃委員会（Committee on the Elimination of Racial Discrimination）は2019年12月13日付けで、FPICが得られるまで、CGL事業、トランス・マウンテ

⁵⁴ Supreme Court of Canada “Delgamuukw v. British Columbia” <https://scc-csc.lexum.com/scc-csc/scc-csc/en/item/1569/index.do> 2021年4月13日閲覧

⁵⁵ Briarpatch “Unpacking the Coastal GasLink injunction and its omissions” 2020年2月23日

⁵⁶ “Memorandum of Understanding Between Canada, British Columbia and Wet'suwet'en as agreed on February 29, 2020” <https://www.rcaanc-cirnac.gc.ca/eng/1589478905863/1589478945624>

⁵⁷ Government of British Columbia, “FAQ: B.C. Declaration on the Rights of Indigenous Peoples Act” <https://www2.gov.bc.ca/gov/content/governments/indigenous-people/new-relationship/frequently-asked-questions-the-united-nations-declaration-on-the-rights-of-indigenous-peoples> 4月13日閲覧

⁵⁸ Unist'ot'en “Wet'suwet'en Leaders Condemn Canada For Human Rights Violations at United Nations Forum” <https://unistoten.camp/wetsuweten-leaders-condemn-canada-for-human-rights-violations-at-united-nations-forum/> 2021年4月15日閲覧

ン・パイプライン事業、サイトCダムの建設を即時中止するよう連邦政府に求める決議を発表した⁵⁹。同委員会は、CGL事業に反対するWet'suwet'enとトランス・マウンテン・パイプラインに反対する先住民族Secwepemcの強制立ち退きを直ちに中止し、特にRCMPによる先住民族に対する殺傷能力のある武器の使用を禁止、そして先住民族に対するいかなる武力も行使しないことを保証するよう連邦政府に要請した。また、RCMPとそれに関連する警備を先住民族の土地から撤退させるよう求めた。

Wet'suwet'enは2020年7月7日、書簡にて人種差別撤廃委員会へ追加の情報提供を行った。同委員会は2020年11月24日、Wet'suwet'enからの同追加情報に基づき、また委員会による問題指摘に対する取り組みについて連邦政府から情報提供がないことを理由に、第21-23号統合定期報告書で、

- a) 先住民族の権利に関する国連宣言を実施するための法律の可決状況および先住民族がその起草にどの程度関与しているか
- b) サイトCダムの開発、またトランス・マウンテン・パイプライン事業及びCGL事業の承認に係るものを含むBC州が可決した法令の実施
- c) 影響を受けたSecwepemc及びWet'suwet'enとの交渉及び協議に従事するために行われた取り組みと結果

の3点を報告することを要請した⁶⁰。期限は2021年11月15日だったが、カナダ連邦政府は回答しなかった。報道によると2022年中に報告するとしている⁶¹。

●先住民族の生活への影響

事業地周辺の河川にはさまざまな種類のサーモンが生息しており、サーモン漁業は先住民族の重要な生計手段の一つである。しかし、気候変動や地域の開発により影響を受けてきており、同パイプラインの建設でさらなる影響が懸念されている。

ブリティッシュ・コロンビア州の環境評価局（Environmental Assessment Office）は2019年にコースタル・ガスリンク・パイプラインの建設工事が着工されて以降、土砂輸送、土壌浸食、廃棄物の保管、生態系の保全・復元等に関する10以上の環境評価証明書の不遵守に関して、複数の命令（以下、不遵守命令）をCGL社に対し出している。

⁵⁹ Committee on the Elimination of Racial Discrimination “PREVENTION OF RACIAL DISCRIMINATION, INCLUDING EARLY WARNING AND URGENT ACTION PROCEDURE” https://tbinternet.ohchr.org/Treaties/CERD/Shared%20Documents/CAN/INT_CERD_EWU_CAN_9026_E.pdf?ga=2.171294304.1158930249.1618324061-1016472279.1618324061 2019年12月13日

⁶⁰ Committee on the Elimination of Racial Discrimination “INT_CERD_ALE_CAN_9296_E” https://tbinternet.ohchr.org/Treaties/CERD/Shared%20Documents/CAN/INT_CERD_ALE_CAN_9296_E.pdf 2020年11月24日

⁶¹ Amanda Hosgood “Canada Puts Off UN Request for Indigenous Rights Update” <https://theyee.ca/News/2021/11/17/Canada-Puts-Off-UN-Request-Indigenous-Rights-Update/> The Tyee, 2021年11月17日

また、新型コロナウイルスの感染が広がった中、建設工事のためにやってきた労働者が自らの感染に気づかず、結果的に先住民族にうつしてしまい、先住民族内の感染に繋がったとの報告もなされている⁶²。

●先住民族に対する人権侵害～弾圧・暴行・殺害など

以下に示すとおり、土地・水・生活・文化を守るようとしている先住民族らに対し、当局が暴力的な手段による弾圧を繰り返しており、表現の自由や報道の自由など、基本的人権が著しく侵害されてきた。

・2019年1月7日、BC州最高裁判所が下した差止め中間判決を理由に、RCMPの数十名の武装した警官がWet'suwet'enの土地を訪れ、反対運動を続ける先住民族に弾圧行為を加えた。差止め中間判決では、抗議活動により会社に財政上の損害が発生したというCGL社の訴えを認め、Wet'suwet'enが道路に設置した障害物の撤去を命令していた。しかし、Wet'suwet'enの人々は、土地の権利はWet'suwet'enにあると主張し続けた。この行動に対し、RCMPはチェーンソーで障害物を破壊し強制的に侵入。また、世襲制酋長を含む14名を逮捕した。この時、この情報を聞きつけ後から訪れたメディアは立ち入りを許されず、自由な報道が許されなかった点も問題とされた⁶³。

・2020年2月6日朝3時過ぎ、BC州最高裁判所の差止め命令を理由に、再びRCMPの数十名の武装した警官が先住民族の土地を訪れ、平和的な抗議活動を続けるWet'suwet'enの活動家を強制退去させようとし28人を逮捕した。この時も、RCMPは立ち入り禁止区域をつくり、通行人やメディアの立ち入りを禁止した⁶⁴。この事件はカナダ全土で大きく報じられ、カナダ国内外70都市以上でWet'suwet'enの人々への連帯を示すアクションが行われた。これをうけ、連邦政府、BC州、Wet'suwet'enの間で、Wet'ensuwet'enの土地に係る権利を認めるとする覚書が結ばれた。しかし、この覚書には一連のガス事業についての言及はなく、その後も、パイプライン建設は継続されてしまっている。

・2021年9月22日、CGL社がWet'suwet'enの土地での工事を強行的に再開し、Wet'suwet'enにとって文化的に重要な遺跡を破壊した。同月25日には、先住民族やその地域に生息する動植物にとって重要な水源であるモーリス川（現地語：Wedzin Kwa）の下を掘削しパイプラインを敷設するための準備が開始された。これに対し、Wet'suwet'enの世襲制酋長や支持者たちは水源を守るため、キャンプを張り、反対運動を開始。平和的な抗議を行っていたが、先住民族やその支持者ら数名が逮捕された。

⁶² Wet'suwet'en "Re: Concerns about the growing numbers of COVID-19 cases from industrial work camps in our Families" http://www.wetsuweten.com/files/OW_Bonnie_Henry_Industrial_work_camps_concerns_Dec_5_2020.pdf 2020年10月5日

⁶³ Rebecca Joseph "Why did RCMP arrest 14 people at Wet'suwet'en Camp, and what happens next?" <https://globalnews.ca/news/4831253/rcmp-arrest-14-wetsuweten-camp-explainer/> Global News, 2019年1月9日

⁶⁴ Lee Wilson "RCMP move in on Wet'suwet'en territory in early morning raid" <https://www.aptnnews.ca/national-news/rcmp-move-in-on-wetsuweten-territory-in-early-morning-raid/> APTN, 2020年2月6日

・2021年11月14日、Wet'suwet'enの世襲制酋長は彼ら自身の伝統的な法に基づき、CGL社に対し2020年1月4日に出した土地からの立退通告を改めて発出⁶⁵。8時間の執行猶予を与え、Wet'suwet'enの土地から立ち去るよう通告するも、CGL社はその通告を無視し、さらにはそのような通告が先住民族から出ていることさえも現地従業員に伝えていなかった⁶⁶。2021年11月18日、重武装したRCMPが、2019年のBC州裁判所の差し止め命令を理由に、平和的に抗議する人々17名を逮捕。翌19日には15名を逮捕した。逮捕者の中にはジャーナリストや法的オブザーバーも含まれていた⁶⁷。

・地域一帯で、複数の先住民族の女性が行方不明、もしくは殺害されており、ガス開発事業との関連が疑われている。連邦政府が実施した「行方不明および殺害された先住民族の女性と少女に対する全国調査（National Inquiry into Missing and Murdered Indigenous Women and Girls - MMIWG）」の最終報告書⁶⁸では、資源開発により先住民族の女性への暴行が増えているという結果が報告されており、女性たちは不安の声をあげている。この点は環境許認可延長決定の司法審査請求の中でも言及されている。

●環境社会負荷の高い水力発電ダムとLNGプラントの関係性

LNGカナダプロジェクトの環境アセスメント報告書（EIA）によると、天然ガスによる自家発電を行い、補助的にBC Hydro社から電力の供給を受けるオプションが望ましいとしている。また事業者のウェブサイトには、BC Hydro社が供給する再生可能エネルギーを使用して生産・加工された天然ガスを発電に利用すると明記している⁶⁹。

BC Hydro社は、BC州北西部のピース川で、1,100メガワット（MW）の発電容量を持つサイトCダム開発を進めている。事業者のウェブサイトによると2014年12月に建設を開始し、2024年に完成予定⁷⁰。BC州担当者はLNGプラントとダム開発の関係性を否定しているが、ダムが完成すれば、サイトCダムから供給される電力がLNGカナダプロジェクトでも使用される蓋然性は高い⁷¹。

⁶⁵ Gidimt'en Checkpoint "Gidimt'en Evict Coastal GasLink from Wet'suwet'en Territory" <https://static1.squarespace.com/static/5c51ebf73e2d0957ca117eb5/t/619168973821566fa355db65/1636919447456/PressReleaseDay50.pdf> 2021年11月14日

⁶⁶ The Tyee, "Coastal GasLink Failed to Warn Camp Employees about Blockade, Worker Says" https://thetyee.ca/News/2021/11/18/Coastal-GasLink-Failed-Warn-Camp-Employees-About-Blockade-Worker/?fbclid=IwAR2tCslDlz8WexHfr2bEESTVy4w_vsE6T5qzLJpGMiBKWYm-PRiKS1lNeSE 2021年11月18日

⁶⁷ Gidimt'en Checkpoint "Militarized RCMP Enforcement, Violent Arrests Continue on Gidimt'en Land Defenders" <https://static1.squarespace.com/static/5c51ebf73e2d0957ca117eb5/t/61998d7941cd455c8f2bdec5/1637453178121/Gidimt%27en-Release-Nov-20.pdf> 2021年11月20日

⁶⁸ The National Inquiry into Missing and Murdered Indigenous Women and Girls "Reclaiming Power and Place: The Final Report of the National Inquiry into Missing and Murdered Indigenous Women and Girls" <https://www.mmiwg-ffada.ca/final-report/> 2019年6月3日

⁶⁹ LNG Canada "Living up to climate promises" Mar 23, 2020

⁷⁰ BC Hydro "Site C Clean Energy Project" https://www.bchydro.com/energy-in-bc/projects/site_c.html 2021年4月13日閲覧

⁷¹ BC Hydro "LNG Canada, BC Hydro sign power agreement" https://www.bchydro.com/news/press-centre/news_releases/2014/LNG-power-agreement.html 2014年11月4日

サイトCダムに関しては、多くの課題や懸念があげられている。サイトCダムの計画は30年以上前から持ち上がっており、コスト面や環境影響などからこれまで2度も事業が拒否されている。一度目はBC州の公共事業委員会 (Utilities Committee) が、また二度目はBC Hydro社の理事会そのものが計画を拒否した。

サイトCダムの建設が進めば、先住民族の土地が水没し、生物多様性豊かな土地や湿地 (tufa seeps) が失われる。そのため、環境保護団体や先住民族らから強い反対の声が上げられてきた⁷²。

サイトCダムは建設中であるが、当初88億カナダドルと見積もられていた建設費は倍の160億カナダドルに膨れ上がっている⁷³。

【現在の状況】

・ LNGカナダプロジェクトの建設は2022年1月時点で約50%進んでいる⁷⁴。CGL事業は、2021年12月31日の時点でパイプラインの建設が48.8%、事業全体で59.2%の進捗率となっている⁷⁵。

・ 新型コロナウイルス感染症の影響で多少の遅れは生じているとみられるものの、建設作業は続けられている。

・ JBICは環境レビュー結果のモニタリング項目の中で、「本不可分一体事業については、ESIA承認付帯条件の遵守状況及び先住民族との対話状況等につきモニタリングを実施する予定。」としている。しかし、JBICが貸付契約を締結した後、①2021年11月9日に新たに3つの不遵守命令⁷⁶がBC州環境評価局から出されており、「ESIA承認付帯条件の遵守状況」に問題が生じていること、②2021年11月18、19日に平和的に抗議を行っていた先住民族らが逮捕されており、「先住民族との対話状況」に重大な問題が生じていることが明らかとなっている。

⁷² The Narwhal “To understand B.C.’s push for the Coastal GasLink pipeline, think fracking, LNG Canada and the Site C dam” <https://thenarwhal.ca/to-understand-b-c-s-push-for-the-coastal-gaslink-pipeline-think-fracking-lng-canada-and-the-site-c-dam/> 2020年3月3日

⁷³ Wilderness Committee “Site C Dam” <https://www.wildernesscommittee.org/sitec> 2021年4月13日閲覧

⁷⁴ Cheryl Jahn “LNG Canada provides project update” https://ckpgtoday.ca/2022/01/20/lng-canada-provides-project-update/?utm_source=dlvr.it&utm_medium=twitter CKPGToday.ca, January 20, 2022

⁷⁵ Coastal Gaslink Pipeline “Construction Update” <https://www.coastalgaslink.com/siteassets/pdfs/construction/updates/cgl-construction-update-january-2022.pdf> 2022年1月24日

⁷⁶ B.C. Environmental Assessment Office 「Coastal Gaslink Pipeline Environmental Assessment Decision」 <https://www.projects.eao.gov.bc.ca/p/588511c4aaecd9001b825604/documents?currentPage=1> 2022年2月8日閲覧